

令和二年十一月十五日

金沢市デジタル工芸展 茶会会記

主 於  
谷村宗昇(遠州流)  
金沢21世紀美術館山宇亭

寄付(松涛庵)  
床 久隅守景筆 紅葉時雨図

蓑盆 立山杉  
火入 ラオスの器  
福嶋則夫 作  
四井雄大 作

床 初入(山宇亭)  
小堀遠州筆 道歌小色紙

丸かれと思ふ心のかどにこそ  
よろずの事のもののかかるに

香合 四方円相蒔絵  
炭斗 籐網代桔梗形  
野雁 西村松逸 作  
本江和直斎 作

釜鐙 釘形 十二代宮崎寒雉 作  
火箸 桑柄樺巻 十二代宮崎寒雉 作  
灰器 南蛮甕蓋

灰匙 桑柄  
釜敷 紙 吉はし製

御菓子 秋の山  
器 宗和好縁高  
銅鑪 砂張一尺三寸 初代魚住為楽 作  
氷見晃堂桑鉦架添フ

後入(山宇亭)

花入 尺八細竹「初時雨」  
本江和直斎 作

花 初嵐 満点星の照葉  
釜 鬼霰 宮崎匠 作  
縁 黒柿

水指 大樋飴釉瓢形 大樋陶治斎 作  
茶入 萌黄金彩 大樋陶治斎 作

袋 吉野間道 氷見晃堂 作  
茶杓 黄楊木 十一代大樋長左衛門 作  
茶碗 大樋黒 板橋廣美 作

替 椿灰白化粧  
建水 木地曲  
蓋置 青竹引切  
御茶 宗実家元好 清湍乃白  
上林春松 詰

以上